



—— 私たちは青森で保養を始めます

被爆から

子どもたちを守りましょう

保養を成功させるために、賛同をお願いします

高濃度汚染地から子どもを守ろう

中畑範彦(歯科医)

原発事故から5年になろうとしています。被災者たちの救済は全く不十分です。

それなのに政府は次々と「避難指示」を解除し、住民を帰還させようとしています。

小さい命ほど放射線の影響を受け易いのに。

自分の子どもがそのような環境に置かれたら、「ここから逃れたい」と思うのは当然の事でしょう。

しかし、福島ではそれも難しいのです。

「放射能を気にするからストレスでガンになる」「ニコニコ笑っていればガンにならない」などと
大学教授は暴言を吐いています。

行政は「安心・安全」の広報活動。教育現場でも「放射線教育」と称して安全刷り込み教育。

こんな中で本当にわが子を心配するお母さん達は放射能の事は口にできないのです。

自主避難しても、どこの家族も離れて暮らす精神的負担と金銭的負担が重くのしかかっています。

私たちは小さな団体ですが、その子どもたちに夏休みの何日かを線量を気にせず、安全な生活をおくってもらい、
身も心もリフレッシュしてもらいたいのです。

福島の子どもたちを放射能から守るプロジェクト・青森 略称：保養プロジェクト@あおもり

共同代表：中畑、中道、間山

連絡先：090-8784-2034 (さくまのぶひこ) 〒030-0862 青森市古川2丁目10-11

払込取扱表

通常払込料金
加入者負担

02	仙台	口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	2	2	9	0	1	1	3	9	7	1	8									
加入者名	保養プロジェクト@あおもり											料金	備考							
ご依頼人・通信欄	賛同金：個人一口 1,000円 団体一口 3,000円 〒※ おところ ※ おなまえ (ご連絡先電話番号)											日附印	様							

振替振込請求書兼受領証

口座記号番号	0	2	2	9	0	1	通常払込料金加入者負担	
加入者名	保養プロジェクト @あおもり							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ ※ 様							
料金	日附印							
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押して下さい。

切り取り線

この受領書は、大切に保管して下さい。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第 10142 号)

これより下部には何も記入しないで下さい。

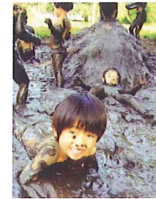
各票の※印欄は、ご依頼人において記載して下さい。

こんな保養を計画しています・・・

期間：2016年8月2日・3日（ねぶたで跳ねて青森の子どもたちと友達になる）

宿泊場所：八甲田山麓の自然の中にある、まきば保育園

保養スタッフ募集：私たちは子どもたちのケアと、遊びのスタッフを募集中です



保養会場となる青森市のまきば保育園の様子

福島の子どもたちを保養に招待しましょう

大竹進（整形外科医）

東日本大震災から5年になりますが、まだ10万人を超える福島県民が避難しています（復興庁2015年12月）。

18歳以下の子どもの避難者数は、23,498人となっています（全国避難者情報システム2015年10月1日）。

全町、全村避難が継続している浪江町、富岡町、大熊町、飯館村、葛尾村、双葉町で、9,465人の子どもが避難し、さらに、南相馬市でも子どもの3分の1以上にあたる4,486人が避難し不自由な生活を送っています。

遠くに避難している飯館村では朝6時のスクールバスに乗って通学するそうです。

放射線被曝による健康被害については、原発事故以前の基準年間1ミリシーベルトを20ミリシーベルトに見直して子どもたちを高線量の地域に帰還させることは間違いです。

また、子どもたちがSOSを発信し、大人が子どものSOSを敏感にうけとめる仕組みは十分できていません。

甲状腺がん及び疑いと判定された子どもが153人にのぼっています。非がん性疾患も増えています。

私たちは、福島県内、県外で避難生活を強いられている子どもたちと、様々な事情から放射能汚染地で暮らしている子どもたちを青森ねぶたに招待し、夏祭りを楽しんでもらいたいと「保養プロジェクト」を始めます。

この保養を通して、子供の総被曝線量が減り、ストレスが解消し、免疫力が高まってくれたらと思っています。

福島の子どもたちが、青森の子どもたちとねぶた祭りを楽しんでいい汗を流し、もやもやしている心の霧を晴らすきっかけになり、心地よい筋肉痛と楽しい思い出を持ち帰ってもらえることを願っています。

保養に招待する人数は少ないですが、これからも毎年継続していきます。

保養プロジェクト@あおもり 呼びかけ人：今村修さん（青森・チェルノブイリ子ども支援ネット）岩田雅一さん（牧師）遠藤順子さん（内科医）

大竹進さん（整形外科医）長内一さん（建交労）古村一雄さん（青森県議会議員）佐原若子さん（歯科医）澤口進さん（核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会代表）

中畑範彦さん（歯科医）中道雅史さん（市民運動家）中村寛二さん（前青森県保険医協会参与）間山正茂さん（南部バス労働組合執行委員長）

YAMさん（PEACE LAND）山口満さん（まきば保育園園長）

（ご注意）

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入して下さい。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないで下さい。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。

・この振込書をゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました振込書に記載されたおとこころ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込の証拠となるものですから大切に保管して下さい。

切り取り線

収入印紙

3万円以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないで下さい。